



会場を埋め尽くす参加者



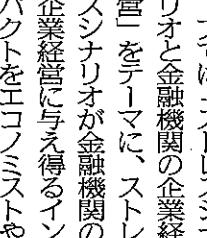
有吉教授



天谷氏



玉村氏



玉村氏

金融・保険業界の経営層やリスク管理部門を中心に、ERMやストレシナリオに関する議論・認識の共有を目的とした「ジャパン・リスク・フォーラム」が4月18日、東京千代田区の大手町サンケイプラザで開催された。「金融危機・ストレスシナリオとERM」をテーマに、有識者による基調講演や分科会、パネルディスカッションを実施。当日は金融・保険業界を中心とした200人以上の関係者が参加した。

基調講演

基調講演では、一橋大学国際・公共政策学院の有吉章教授が「ユーロ危機、日本国債とストレスシナリオ」をテーマに、有識者による基調講演を踏まえた本の国債問題を踏まえたストレシナリオの在り方を論じた。

有吉教授は冒頭、日本の国債(JGB)が、イタリアやスペインといったユーロ圏の国と同じような危機的状況になるの

一方、依然として日本企業や金融機関は買い増しを続けており、投資家や企業のリスクマネジメントが「国債危機」につ

Bが暴落するリスクは十分にあり得ると考えてい

る一方、依然として日本

企業や金融機関は買い増しを続けており、投資家

や企業のリスクマネジメントが「国債危機」につ

いて、投資家の判断も大

き同じで、将来的にJG

Bが暴落するリスクは十分にあり得ると考えてい

る一方、依然として日本

企業や金融機関は買い増しを続けており、投資家

や企業のリスクマネジメントが「国債危機」につ

いて、投資家の判断も大

き同じで、将来的にJG